

平成29年6月30日

八王子市多文化共生推進プラン各所管の取組み状況

平成25～28年度実績

多文化共生推進課

平成29年6月30日
平成29年度 第2回多文化共生推進評議会
資料1

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現
 ↳ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実
 ↳ 施策のテーマ1 多言語等による情報提供の充実

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26	H27	H28	H29	H30	主な取組み	現在の状況		
				年度	年度	年度	年度	年度				
1	行政情報、各種申請書、案内表示等の多言語化及びやさしい日本語表記	外国人市民向けに、多言語やさしい日本語による生活に関する情報提供の充実を図る。	行政情報等									
			18	→	→	→	→	→	家庭用ごみ・資源物収集カレンダー-外国語補助冊子	本市のごみの分別方法と出し方・出す日にちについて外国人に周知するため収集カレンダーの補助冊子を作成（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語）	概要 ・取組み数 50 ・新規取組み数 3 ・充実取組み数 5 現在の状況 各所管において、行政情報の多言語化の取組みを進めている。28年度には、外国人市民に対してアンケートを送付し、生活に関する情報提供について満足度調査を行った。	
			16	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	充実 外国人のためのくらしの便利帳	外国人のためのくらしの便利帳を作成・配布（英語、中国語、韓国・朝鮮語）		
			7	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	充実 外国人向け情報誌「Ginkgo」（ぎんこ）	市の業務や施設、伝統行事の紹介等を掲載した情報誌年6回発行。主に市内公共施設等で配布（日本語（ルビ付）、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）平成29年1月号から、市民ボランティアが翻訳したインドネシア語版を市ホームページで公開。		
			18	⇒	⇒	→	→	→	就学に関する案内の多言語化	新入学該当者へのお知らせ ・外国籍児童小学校入学案内 ・学校選択制案内通知 ・就学時健康診断通知・入学通知（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語）		
			28			☆	→	→	新 ホームページの多言語化	平成29年1月の市ホームページのリニューアルに伴い、英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）に自動翻訳されるソフトを導入		
			28			☆	→	→	新 子育てガイドブック	子育てガイドブックをやさしい日本語で作成し、さらに多言語化（英語、中国語、韓国・朝鮮語）を実施		
			29					☆	→	新 市・都民税の申告受付事務		多言語に対応した市・都民税申告書の記入例を作成予定
			23	→	→	⇒	⇒	⇒	充実 戸吹スポーツ公園利用基準	戸吹スポーツ公園スケートパークの利用基準を、英語・中国語・韓国・朝鮮語の各言語毎にデータ作成、必要時にプリントアウトして配布 28年度配布実績：64件		

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	年度					主な取組み	現在の状況	
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			
			案内表示								
			25	→	→	⇒	→	→	充実 庁舎案内サイン	正面玄関、南玄関案内サイン2ヶ所（英語）、本庁舎内全てのトイレに使用方法に関する多言語シールを貼付（英語、中国語 繁体字・簡体字、韓国語）	
			26	☆	→	→	→	→	八王子駅南口総合事務所内サイン	絵文字（トイレ、冷水機、赤ちゃんふらっと） 英語表記（窓口表示、トイレ）	
			18	→	→	⇒	⇒	⇒	充実 富士森体育館施設案内等	富士森体育館について、英語での説明用施設案内・利用基準を作成 ピクトグラムを28年度設置	
2	多言語及びやさしい日本語による窓口対応、相談事業の充実	相談時に活用できる「やさしい日本語」のマニュアルづくりを行う。	25	→	→	⇒	→	→	充実 多言語通訳業務の委託契約	外国人住民に対して円滑な窓口対応ができるよう、多言語通訳業務を実施。庁内に周知し、利用所管を拡大 利用件数：43件	概要 ・取組み数 14 ・充実取組み数 3
			16	→	→	⇒	→	→	充実 外国人サポートデスク	外国人市民に関する生活相談や暮らしの情報提供を行う外国人サポートデスクを設置。平成28年度より、住居、就労、医療に関する相談、情報提供の充実を図るため、外国人サポートデスクの人員を充実。中国語での相談可能な日を設定	現在の状況 やさしい日本語の活用及びマニュアルづくりは進んでいないが、子育てガイドブックのやさしい日本語版を作成した。
			20	→	→	⇒	→	→	充実 行政書士による外国人個別相談	行政書士による外国人個別相談（月1回）において、英語、中国語、タガログ語、スペイン語の語学ボランティアを配置	
3	通訳・翻訳ボランティア等の育成と活用の充実	通訳・翻訳ボランティアの登録者数を平成29年（2017年）度までに250人に増やす。	20	→	→	→	→	→	語学ボランティア登録	語学ボランティアの登録制度 通訳・翻訳ボランティアの登録者数：225人 （平成29年3月31日現在）	概要 ・取組み数 3
			15	→	→	→	→	→	語学ボランティア研修	語学ボランティア研修(4回) 参加者：37人	・登録者数 プラン策定時：181人 25年度：205人 26年度：203人 27年度：222人 28年度：225人
			15	→	→	→	→	→	医療・防災語学ボランティア研修	医療通訳ボランティア研修会（2回） 参加者：50人 医療通訳ボランティア：8言語49人 災害時通訳ボランティア：9言語47人 （平成29年3月末現在）	現在の状況 語学ボランティア登録者目標数が達成できていない。

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況	
4	外国人観光客等への情報提供の充実	観光協会、地元商店街、交通事業者等と連携し観光情報の多言語化の充実を図る。	25	→	→	→	→	→	諸外国への観光PR	香港や東南アジア諸国（タイ・マレーシア等）において行われた現地旅行博覧会等に、東京観光財団を通じて、当市のパンフレット等を送付し、外国人観光客の誘致を推進	<p>概要</p> <p>取組み数 12 新規取組み数 1 充実取組み数 1</p> <p>現在の状況</p> <p>より多くの言語でのPRを行うため、外国人留学生や地元の大学などの連携が必要である。</p>
			27		☆	→	→	→	多言語対応スタッフの配置	JR八王子駅北口の「八王子インフォメーションセンター」で、観光協会と連携し、多言語での情報提供の実施 27年度から高尾山口駅前に「高尾山口観光案内所」も開設し、多言語対応できるスタッフを配置	
			26	☆	→	→	→	→	海外友好交流都市への観光ポスターや季刊情報誌の配布	海外友好交流都市である台湾（高雄市）、韓国（始興市）、中国（泰安市）にニュースレター（春・秋）の配布及び観光ポスターの掲示を実施し、外国人観光客の誘致を推進	
			28			☆	→	→	新 中心市街地おもてなし通信環境の整備	平成28年12月1日から八王子駅周辺でHachioji Free Wi-Fiのサービス提供を開始（英語、中国語（簡・繁）、韓国語に対応） あわせて、自動接続先として中心市街地のお店等を紹介するページ「おもてなし八王子」を公開（英語、中国語（簡・繁）、韓国語、タイ語に対応）	
			25	→	→	→	⇒	→	充実 外国語版観光ガイドマップ	平成29年度に、外国人観光客が本市の観光情報を容易に取得できる「観光PR扇子」を制作し観光客の誘致を行う予定	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱Ⅰ コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ2 日本語学習支援

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況
5	日本語学習支援者の育成と活用の充実	日本語学習支援者数を平成29年（2017年）度までに40人に増やす。	20	→	→	→	→	→	日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティア基礎講座、ステップアップ講座を実施 講座参加者数：40人 日本語学習支援者数：49人	概要 ・取組み数 1 ・日本語学習支援者数 プラン策定時：20人 25年度：23人 26年度：32人 27年度：33人 28年度：49人 現在の状況 日本語学習支援者数の目標である40人に対して、現在49人になり、目標を達成している。
6	外国人市民向け日本語学習の機会提供	日本語教室への延べ参加者数を平成29年（2017年）度までに6,000人に増やす。	不明	→	→	→	→	→	日本語教室 外国人支援団体等による日本語教室（延べ948回）を実施 日本語教室への延べ参加者数：7,591人	概要 ・取組み数 3 ・参加者数 プラン策定時：4,584人 25年度：6,959人 26年度：7,449人 27年度：8,406人 28年度：8,490人 現在の状況 日本語教室への延べ参加者数も目標数6,000人に対して、現在8,490人になった。25年度実績から目標を達成している。
			H2頃	→	→	→	→	→	外国人のための日本語教室の実施 ・クリエイトコース（木曜日夜間・金曜日午前） ・南大沢分館コース（水曜日夜間） 76回実施、延べ受講者数：899人	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

↳ 施策の柱I コミュニケーション支援の充実

↳ 施策のテーマ3 外国人市民の自立と社会参加

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み		現在の状況
7	外国人市民によるネットワークの構築支援	同国の外国人同士で構成するネットワークを6つ以上つくる。	25	⇒	⇒	→	→	→	コミュニティグループの構築	フェイスブックを活用し、コミュニティグループを結成 H25年度：中国語、韓国・朝鮮語 H26年度：スペイン語、英語(フィリピン) H27年度：ベトナム語、英語	概要 ・取組み数 7 ・ネットワーク数 プラン策定時：0 25年度：2 26年度：4 27年度：6 28年度：6 現在の状況 ネットワークの構築目標数6に対して、27年度に目標数を達成した。コミュニティグループへの参加者数をさらに増やす必要がある。 コミュニティグループ参加者数 中国語：56人 韓国・朝鮮語：19人 スペイン語：16人 英語(フィリピン)：26人 ベトナム語：16人 英語：16人 (H29.3.31現在)
			25	→	→	→	→	→	交流会・研修会の実施	コミュニティグループへの参加促進イベントやフェイスブック使い方研修会を開催 7回、延べ参加者数：80人	
			25	→	→	→	→	→	コミュニティグループの周知	八王子国際協会HPやチラシなどで周知活動を実施	
8	外国人市民の自立と社会参加を促す外国人キーパーソンの育成	外国人キーパーソンを育成するための研修や講演会を年2回以上開催する。	25	→	→	→	→	→	キーパーソンの育成	各キーパーソンのフォローアップのため、フェイスブック研修会を開催 開催回数：1回、参加者数：7名	概要 ・取組み数 1 ・研修等の開催数(参加回数) 25年度：2回 26年度：2回 27年度：3回 28年度：1回 現在の状況 国際協会や活動団体等による研修や講演会に参加している。コミュニティグループの情報発信を更に充実させる必要がある。

事業 No.	推進する 施策	目標	開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	主な取組み		現在の状況
9	外国人市民の 地域社会活動 への参加支援	外国人による 講座や地域活 動の充実を図 る。	16	→	→	→	→	→	世界の人とのふれあいタイム	外国人が自国の歴史、文化などを映像や音楽などを交えて紹介する「世界の人とふれあいタイム」を27年度は5回実施（セネガル共和国、コロンビア共和国、サウジアラビア王国、ロシア連邦、メキシコ合衆国） 参加者数：276人	概要 ・取組み数 6 現在の状況 世界の人とのふれあいタイムは、毎回会場がいっぱいになるほどの人気がある。高尾山口観光案内所では、外国人留学生が活躍している。 さらに、外国人が企画の中心になるイベントや、自主的な活動を増やしていくことが必要である。
			不明	⇒	⇒	→	→	→	外国人留学生による地域貢献活動	外国人留学生による高尾山口観光案内所、みんなの川の清掃デー、八王子まつり、いちよう祭り等によりボランティア活動の実施（延べ人数129人）	
10	外国人市民が 集い、情報交 換できる場の 支援	外国人市民が 集う場づくり の支援と利用 の充実を図 る。	16	⇒	→	→	→	→	国際交流コーナーの活用	国際交流コーナーは、多文化共生推進に資する市民団体の活動場所として活用	概要 ・取組み数 3 現在の状況 国際交流コーナーを、より多くの市民団体が使用できるようにする必要がある。
			26	☆	→	→	→	→	交流会・研修会の実施	コミュニティーグループへの参加促進イベントやフェイスブック使い方研修会を開催（7回、延べ80人）	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実

└ 施策のテーマ1 教育

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況
11	学校入学前の就学案内等、多言語による情報提供	市や教育委員会から発信される情報の多言語化の充実を図る。	18	→	→	→	→	→	学校入学前の就学案内の多言語による情報提供 外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知（小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書）を英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語で通知 通知実績（平成29年度新入学児童生徒） 小学校56件 中学校27件	概要 ・取組み数 3 ・充実取組み数 1 ・通知実績 25年度：4言語 26年度：4言語 小学校43件 中学校31件 27年度：4言語 小学校43件 中学校37件 28年度：4言語 小学校56件 中学校27件 現在の状況 これまでは英語、中国語、韓国・朝鮮語が多かったが、最近はベトナム語等の需要が出てきている。
			15	→	→	⇒	→	→	新規 翻訳業務委託 平成28年度より、速やかな対応を図るため、新たに翻訳事業者と契約事業者による教育関係の翻訳：1件	
12	外国人児童・生徒等への日本語による学習支援	学習支援教室の延べ参加者数を平成29年度までに1,000人に増やす。	不明	→	→	→	→	→	学習支援教室 ・北野学習支援教室（40回） 参加者数：18人 支援者数：25人 ・八王子駅前教室（37回） 参加者数：19人 支援者数：24人	概要 ・取組み数 6 ・学習支援教室参加者数 策定時：638人 25年度：1,122人 26年度：928人 27年度：962人 28年度：999人 現在の状況 学習支援教室の延べ参加者数は、平成25年度に目標数の1,000人を達成。その後も900人台で推移している。
			4	→	⇒	⇒	⇒	⇒	外国籍等児童生徒就学時支援者の派遣 来日して間もない児童・生徒で、日本の生活や言語などが全く理解できない場合の就学時に、母語を理解できる外国籍等児童生徒就学時支援者を任用し、在籍校に派遣	
			1	→	→	→	→	→	日本語学級の設置 第六小学校及び打越中学校に日本語学級を設置し、日本語の習得が不十分な外国人児童・生徒の実態に応じた授業を実施	
			不明	→	→	→	→	→	日本語巡回指導 市立小・中学校に在籍する児童・生徒のうち、日本語の理解が不十分で学校生活や学習活動に適応することが困難な児童・生徒を対象として、初期の日本語指導を行うために日本語巡回指導員を派遣 巡回指導員（2名） 派遣実績 小学校 1172時間 中学校 295時間	

事業 No.	推進する 施策	目標	開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	主な取組み	現在の状況
13	不就学の外国人児童・生徒等への対応	不就学の外国人児童・生徒等とその保護者への情報提供等の充実を図る。	23	→	→	→	→	→	広報、Ginkgoへの就学案内記事の掲載 広報4/15号及びGinkgo5月号に、外国人児童・生徒の就学案内や就学援助制度について掲載することで、就学機会の確保を推進	概要 ・取組み数 2 現在の状況 学習支援教室や広報等で情報提供を行っている。 不就学児の実態は把握できていない。
14	外国人児童・生徒等の進路指導及び就職支援	高校進学ガイダンスの参加者数を平成29年（2017年）度までに100人に増やす。	22	→	→	→	→	→	高校進学ガイダンス 外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に、高校入試制度等を説明する「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施 参加者数：71名	概要 ・取組み数 1 ・参加者数 策定時：43人 25年度：49人 26年度：29人 27年度：48人 28年度：71人 現在の状況 来日数が短い生徒の高校進学は大きな課題となっている。
15	外国人児童・生徒等の保護者に対する情報提供の充実	教育制度や受験制度について多言語での情報提供の充実を図る。	22	→	→	→	→	→	高校進学ガイダンス 「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」において、外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に、高校入試制度等を説明	概要 ・取組み数 2 ・高校進学ガイダンス参加者数：71人 現在の状況 転入時に就学ガイドブックを配布しているが、母国との制度の違い等により理解できていない場合がある。
			17	→	→	→	→	→	「就学ガイドブック」の配布 文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（英語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、フィリピン語、中国語、ポルトガル語、スペイン語）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報提供	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

↳ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実

↳ 施策のテーマ2 医療・福祉

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況		
16	多言語で対応できる医療機関の情報提供等、医療・福祉関連情報の充実	医療システムや医療機関リスト等、多言語での医療情報の提供の充実を図る。	26	☆	→	→	→	→	市ホームページ及びメール配信サービスによる休日対応医療機関の情報提供	概要 ・取組み数 7 現在の状況 各所管で多言語での医療情報やホームページ等で休日医療機関の情報の提供を行っているが、医療システムに関する情報についても提供していく必要がある。		
			25	→	→	→	→	→	妊娠届出書（英語・中国語）及び外国語版母子手帳（8か国語）の配布と案内		【外国語版母子手帳の配布】 英語：7冊 中国語：5冊 ベトナム語：2冊 タイ語：1冊	
			26	☆	→	→	→	→	多言語医療問診票の医療機関への周知及び活用		災害時における多言語医療問診票の有効性を八王子市医師会を通して、各医療機関に紹介	
17	医療通訳者派遣システムの構築	医療通訳ボランティアの登録者数を平成29年（2017年）度までに40人に増やす。	23	→	→	→	→	→	医療通訳ボランティアの登録	概要 ・取組み数 4 ・登録者数 策定時：22人 25年度：27人 26年度：6言語41人 派遣件数：24件 27年度：6言語47人 派遣件数：56件 28年度：8言語49人 派遣件数：46件 現在の状況 医療通訳派遣システムの構築は、市単独での実施は難しいため、引き続き都へ働きかけを行っていく。		
			23	→	→	→	→	→	→		医療通訳ボランティア研修会	医療通訳研修会の実施（2回） 第1回テーマ：眼科 参加者：20人 第2回テーマ：産婦人科 参加者：30人
			23	☆	→	→	→	→	→		医療通訳ボランティアの派遣	病院や外国人市民より依頼があった場合には、医療通訳ボランティアの派遣を実施

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況	
18	外国人市民にもわかりやすい健康相談等の実施	健康や疾病に関する知識の多言語による周知と健康相談等の充実を図る。	24	→	→	→	→	→	保健相談 健康育児相談時に母子保健全般の説明案内文を配布 (英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語)	概要 ・取組み数 2 現在の状況 乳幼児健康審査は年間72回。健康育児相談は随時実施している。 外国人の親子に接触を持ちづらいため、問題が深刻化してから相談に来る場合がある。	
19	外国人市民にもわかりやすい子育てや福祉に関する各種相談窓口の充実	多言語による子育てや福祉に関する情報提供、窓口対応の充実を図る。	25	⇒	→	→	→	→	外国人市民向けの子ども家庭支援センター案内パンフレットの配布	平成25年度に作成した多言語の子ども家庭支援センター案内パンフレットを各親子ふれあい広場、つどいの広場で配布	概要 ・取組み数 4 ・新規取組み数 1 現在の状況 新たな取組みとして、やさしい日本語・多言語による子育てガイドブックを作成し、配布した。 通常の日本語版で作成したガイドブックと情報量に差があることが課題である。
			25	→	→	→	→	→	外国語版介護保険パンフレットの配布	介護保険制度についての案内は東京都が作成した「英語」「韓国語」「中国語」のパンフレットを活用	
			28			☆	→	→	新 子育てガイドブック	やさしい日本語による子育てガイドブックを作成し、多言語化(英語、中国語、韓国・朝鮮語)	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

↳ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実

↳ 施策のテーマ3 住居

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み		現在の状況
20	多言語による住宅関連情報の充実	生活上のルールや住居に関する基礎知識などの情報の多言語化の充実を図る。	25	→	→	→	→	→	外国人市民のためのくらしの便利帳、Ginkgoの配布	転入時に外国人市民に窓口で外国人のためのくらしの便利帳、Ginkgoを配布	概要 ・取組み数 3 現在の状況 外国人のためのくらしの便利帳で行政サービスや様々な窓口の紹介を行っている。
			25	→	→	→	→	→	市営住宅入居者への多言語パンフレットの配布	必要に応じ、ごみに関する多言語によるパンフレット等を提供	
21	外国人への入居差別の解消、居住支援の充実	外国人の住まい探しから入居までを支援するしくみづくりを構築する。	27		☆	→	→	→	居住支援協議会の設置・運営	住宅確保要配慮者が入居することができる住宅の登録事業の開始	概要 ・取組み数 3 現在の状況 平成27年度から居住支援協議会を設置し、平成28年度は、住宅確保要配慮者が入居することができる住宅の登録事業を開始した。
			19	→	→	→	→	→	外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度	外国人留学生が八王子市で賃貸住宅を借り、保証人代行制度を利用した際の一部を補助	
22	外国人市民の町会・自治会等への加入促進	外国人市民の町会・自治会への加入者数を増やす。	25	→	→	→	→	→	外国人市民のための「町会・自治会への加入促進チラシ」の配布	「町会・自治会への加入促進チラシ」の英語、中国語、韓国・朝鮮語版を作成し、外国人に対し町会・自治会への加入を促進	概要 ・取組み数 5 現在の状況 地域の防災訓練に外国人市民が参加できるよう支援を行っているが、町会への外国人の加入状況の把握は難しい。
			25	→	→	→	→	→	町会主催防災訓練への外国人参加	町会・自治会主催の防災訓練に外国人市民が参加出来るように支援を実施	

基本目標 1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実

└ 施策のテーマ4 就労

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃

事業 No.	推進する 施策	目標	開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	主な取組み	現在の状況
23	外国人市民の 就業環境の 改善等に関する 雇用関係者 への意識啓発	就業環境の 改善、外国人 雇用の際の注 意事項、市内 企業への啓発 などの充実を 図る。	26	☆	→	→	→	→	外国人労働者雇用マニユア ルの配布 東京都が発行した外国人労働者雇用マ ニュアルを配布	概要 ・取組み数 0 現在の状況 外国人労働者雇用マニュアルを配布し情報提供 を行っているが、今後は雇用関係者を対象に講演 会を開催するなどし、さらに啓発を図っていく必 要がある。
24	関係機関との 連携による外 国人市民にも わかりやすい 情報提供や労 働相談窓口 の充実	不法滞在者雇 用防止や就業 に関する多言 語情報の充実 を図る。	26	☆	→	→	→	→	外国人労働者ハンドブック 配布 東京都が発行した外国人労働者ハンド ブック（英語、中国語、韓国・朝鮮語） を配布	概要 ・取組み数 6 現在の状況 外国人労働者ハンドブックの配布により多言語 での情報提供を行っているが、相談窓口の充実を 図る必要がある。

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

↳ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実

↳ 施策のテーマ5 防災

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み		現在の状況
25	災害時に提供する情報の多言語化	防災・災害情報の多言語化と情報提供の充実を図る。	25	⇒	⇒	→	→	→	災害ヘルプカード・防災マップ普及	多言語による災害ヘルプカード・防災マップを、市民課窓口、防災訓練、大学等にて配布	概要 ・取組み数 2 現在の状況 多言語による防災ガイド、災害ヘルプカード、防災マップを作成し配布している。
			25	→	→	→	→	→	外国語版防災ガイドの作成、配布	地震に関する基礎知識や日頃からの備えを記した、外国語版防災ガイド（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語）を作成し、窓口にて配布	
26	外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発	外国人市民の防災訓練の参加者数を平成29年（2017年）度までに100人に増やす。	14	⇒	⇒	→	→	→	外国人市民の防災訓練参加	外国人市民が総合防災訓練や町会自治会主催の防災訓練に参加することを支援 （町会・自治会防災訓練：30人、総合防災訓練：24人、立川防災館：7人、市民センター防災訓練：2人、ネパール人居住地区防災訓練：24人、モスク防災訓練：33人）	概要 ・取組み数 2 ・防災訓練参加者数 策定時：43人 25年度：80人 26年度：72人 27年度：51人 28年度：120人 現在の状況 28年度に目標数を達成したが、今後も参加者が集まるよう支援を継続することが必要である。
27	災害時における外国人支援体制の整備	町会・自治会への加入を促進し、防災・災害時の情報共有の充実を図る。	25	→	→	→	→	→	避難行動要支援者制度	外国人を含む避難行動要支援者名簿を毎年更新して大災害時に必要な人に渡せるように市民部事務所、八王子駅南口総合事務所、本庁及び小学校に配備	概要 ・取組み数 11 現在の状況 災害時によく使われる用語をまとめたシートや、避難者自身の情報を収集するための避難者登録カードなどを多言語化し、避難所に準備する必要がある。
			17	→	⇒	→	→	→	→	災害時対応マニュアル・多文化共生推進課	

事業 No.	推進する 施策	目標	開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	主な取組み		現在の状況
28	災害時の通訳ボランティアの育成・支援	災害時通訳ボランティアの登録者数を平成29年(2017年)度までに150人に増やす。	23	→	→	→	→	→	災害時通訳ボランティア登録	災害時通訳ボランティアを随時募集	概要 ・取組み数 5 ・登録者数 策定時：97人 25年度：97人 26年度：97人 27年度：9言語、97人 28年度：9言語、47人 現在の状況 登録者数が増えず、目標数に達していない。
			25	→	→	→	→	→	語学ボランティア災害時対応研修	「八王子国際協会 災害時の外国人支援について」をテーマに語学ボランティア研修を実施 参加者：7人	
			24	→	→	→	→	→	市民センター避難所開設訓練	市民センター(子安、北野)避難所等開設訓練にて外国人の受け入れ訓練を実施 外国人参加者数：2人、語学ボランティア参加者数：2人	

基本目標1 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱Ⅱ 生活支援の充実

└ 施策のテーマ6 外国人留学生

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況
29	大学コンソーシアムとの連携事業の促進	外国人留学生事業への参加者数を平成29年(2017年)度までに250人に増やす。	25	→	→	⇒	⇒	⇒	外国人留学生支援事業 外国人留学生支援事業	概要 ・取組み数 5 ・充実取組み数 1 ・参加者数 策定時：125人 25年度：217人 26年度：269人 27年度：370人 28年度：331人 現在の状況 H26年度に数値目標は達成しているが、大学コンソーシアム八王子と国際協会の連携は不十分である。
			26	☆	→	→	→	→	→	
30	企業との連携による外国人留学生への就職支援	外国人留学生のための就職支援セミナーの参加者数を平成29年(2017年)度までに50人に増やす。	21	→	→	→	→	→	留学生のための就職支援セミナー ハローワーク、NPO法人留学生協会、八王子市産業政策課、地元企業社長等を講師に「留学生のための就職支援セミナー」を実施 参加留学生：20人	概要 ・取組み数 2 ・就職支援セミナー参加者数 策定時：22人 25年度：26人 26年度：21人 27年度：23人 28年度：40人 現在の状況 参加者数が伸び悩んでいるため、参加者を増やす工夫が必要である。
			22	→	→	→	→	→	→	
31	外国人留学生への生活支援	外国人留学生が必要な生活、地域、災害対応等の情報提供の充実を図る。	19	→	→	→	→	→	フェイスブックやメール等による情報提供 フェイスブックやメールによりイベント情報や休日診療の情報を提供	概要 取組み数 4 現在の状況 「外国人のためのくらしの便利帳」で生活情報の提供を行うと共に、フェイスブックやメールにより、様々な情報提供を行っている。
			不明	→	→	→	→	→	地域との交流事業に奨学金受給者の参加 地域との交流事業(八王子まつり、いちよう祭り、高尾山口観光案内所、みんなの川の清掃デー、防犯キャンペーン等)に奨学金受給者が参加 参加者延べ129人。	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

↳ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

↳ 施策のテーマ1 多文化共生意識の啓発

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況
32	多文化共生を推進する人材の育成	日本語学習ボランティア養成講座の受講者を平成29年(2017年)度までに100人に増やす。	20	→	→	→	→	→	日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティア養成講座の実施 ・受講者数：基礎講座：23人、ステップアップ講座：17人)	概要 ・取組み数 2 ・受講者数 策定時：44人 25年度：55人 26年度：56人 27年度：58人 28年度：40人 現在の状況 平成29年度より、日本語ボランティア養成講座を協会事業から市の事業として実施。 目標を達成するためには、受講者数を増やす工夫が必要。
33	地域のイベント等における多文化共生意識の啓発	地域行事への外国人市民の参加者数を平成29年(2017年)度までに100人に増やす。	11	→	→	→	→	→	国際交流フェスティバル 日本人と外国人との交流を通じて、お互いの習慣や文化に対する理解を深め、地域の多文化共生を図ることを目的に国際交流フェスティバルを実施 来場者数：1,300人 協力外国人数：100人(16か国)	概要 ・取組み数 7 ・参加者数 策定時：24人 25年度：48人 26年度：69人 27年度：89人 28年度：100人 現在の状況 参加者数は年々増加しており、28年度は目標を達成した。
			不明	→	→	→	→	→	地域での防災訓練、お祭りへの参加 町会自治会主催の防災訓練(30)、小比企七夕まつり(2)、八王子まつり(7)、いちよう祭り(7)、みんなの川の清掃デー(9) 参加者数：55人	

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

↳ 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

↳ 施策のテーマ2 国際理解・国際協力

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況	
34	学校における国際理解教育の推進	国際理解教育の実施件数を平成29年(2017年)度までに10件に増やす。	18	→	→	→	→	→	学校における国際理解教育	小中学校での国際理解教育実施件数：5校、409人	概要 ・取組み数 10 ・充実取組み数 1 ・実施件数 策定時：4件 25年度：6件 26年度：8件 27年度：6件 28年度：5件 現在の状況 外国人市民が大幅に増加する中、ますます必要性が増している。
			26	→	⇒	→	→	→	教員向け国際理解ワークショップ実施	教育委員会実施の教員パワーアップ研修にて国際理解教育ワークショップの実施(1回) 参加者60人	
			小H21中S63	→	→	⇒	→	⇒	充実 外国人外国語等学習指導助手配置事業	28年度から配置時間数、29年度からは配置対象学年を拡大	
35	日本人市民が国際理解を深める機会の提供	展示会関連イベントへの参加者数を平成29年(2017年)度までに4,000人に増やす。	11	→	→	→	→	→	国際交流フェスティバル	日本人と外国人との交流を通じて、お互いの習慣や文化に対する理解を深め、地域の多文化共生を図ることを目的に国際交流フェスティバルを実施 来場者数：1,300人 協力外国人数：100人(16か国)	概要 ・取組み数 11 ・参加者数 策定時：2,642人 25年度：4,222人 26年度：4,460人 27年度：6,177人 28年度：6,540人 現在の状況 平成25年度から目標数4,000人を達成している。
			16	→	→	→	→	→	世界の人とのふれあいタイム	実施回数5回(セネガル共和国、コロンビア共和国、サウジアラビア王国、ロシア連邦、メキシコ合衆国) 参加者数：276人	
			20	→	→	→	⇒	→	充実 海外友好交流都市写真展	海外友好交流都市を紹介する写真展を実施 来場者：4,736人	
			不明	→	→	→	→	→	国際理解講座の実施	市民を対象に、外国の文化や情勢などを学ぶ「国際理解講座」を実施 16講座 延べ受講者数310人	

事業 No.	推進する 施策	目標	開始 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	主な取組み	現在の状況
36	国際協力団体等との連携による国際協力活動の啓発	国際協力イベント等への参加者数を平成29年(2017年)度までに2,000人に増やす。	11	→	→	→	→	→	国際協力活動の周知 国際交流フェスティバル 国際交流フェスティバルにてJICA多摩地区デスクによる講演会を実施 参加者数：1,300人	概要 ・取組み数 3 ・参加者数 策定時：1,100人 25年度：1,259人 26年度：1,243人 27年度：1,255人 28年度：1,300人 現在の状況 参加者数は、1,300人程度に留まり、目標数には達していない。

基本目標2 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

L 施策の柱Ⅲ 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

L 施策のテーマ3 海外友好交流都市との交流

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止

事業No.	推進する施策	目標	開始年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	主な取組み	現在の状況
37	海外友好交流都市との市民交流の促進	海外友好交流イベント等への参加者数を平成29年(2017年)度までに4,000人に増やす。	18	→	→	→	→	→	海外交流支援デスク 海外友好交流都市との市民交流が活発に実施されるための相談窓口として海外交流支援デスクを設置 ・市民交流事業の調整件数：6件 ・交流イベントへの参加者数：4,912人	概要 ・取組み数 13 ・参加者数 策定時：2,795人 25年度：4,282人 26年度：4,464人 27年度：4,696人 28年度：4,912人 現在の状況 台湾・高雄市との活発な市民交流を中心に、平成25年度から目標数を達成している。
			19	→	→	→	→	→	海外友好交流事業補助 海外友好交流都市との市民交流が活発に実施されるよう、市民団体による交流に対し補助金を支給 海外友好交流事業補助金制度 2件 ・始興ゲッゴル祭り(法政大学よさこいソーランサークル) ・高雄ランタンフェスティバル(明星大学ダブルダッチチーム)	
			25	→	→	→	→	→	海外友好交流都市への観光ツアー 海外友好交流都市(高雄市)への観光ツアー 実施日：平成29年2月10～13日 参加者数：27人【観光協会】	
38	青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の促進	展示会関連イベント等青少年交流事業への参加者数を平成29年(2017年)度までに2,000人に増やす。	18	→	→	→	→	→	海外友好交流事業補助金 ・明星大学のダブルダッチチームが高雄ランタンフェスティバルに参加 ・法政大学よさこいソーランサークルが始興ゲッゴル祭りに参加	概要 ・取組み数 3 ・参加者数 策定時：1,381人 25年度：434人 26年度：344人 27年度：260人 28年度：485人 現在の状況 参加者数は目標数を大幅に下回っている。現状では達成は困難。
			19	→	→	→	→	→	海外交流支援デスク 海外交流支援デスクでの青少年関係の事業(バドミントン交流、読書感想画)調整件数：3件	
39	市民・民間団体等の海外交流事業の支援	市民団体等の交流事業の支援を図る。	不明	→	→	→	→	→	海外交流事業支援 ・JICAボランティア表敬訪問 ・ラボ国際交流センター表敬 ・市民団体がドイツ・ヴリーツェン市へ千羽鶴、つるし雛を送付	概要 取組み数 1 現在の状況 市民団体の交流支援を行っている。本市出身の肥沼博士ゆかりのヴリーツェン市との市民交流が盛んになっている。